

令和6年度 公立学校教員採用候補者選考試験問題

小学校

1 / 14 枚中

注意 ・答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。
 ・本問題では、小学校学習指導要領（平成29年告示）を「指導要領」、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説を「指導要領解説」とする。

第1問題 国語科について、次の問に答えよ。

問1 第3学年で宝物を紹介する学習を行った。資料1は児童が紹介を考える際に参考とする発表メモ、資料2は児童が紹介を考える際に参考とする紹介の例である。また、資料3は参考とする紹介の例のよさについて児童が話し合う授業場面の記録である。資料1～3を読み、後の(1)～(4)に答えよ。

資料1

資料2

メモ

1 たからもの
 ・しおり

2 たからものにえらんだ理由
 〈いちばんつたえたいこと〉
 作り方
 ・おし葉にする葉 ・本
 ・あつ紙 ・シール ・リボン

4 よびかけ
 ・いっしょにしおりを作ろう。

① このしおりは、わたしのたからものです。どうしてたからものになったと思いますか。

② それは、おばあちゃんに教えてもらいながら自分で作ったからです。

③ おばあちゃんには、散歩の時、草花をつかったりいろいろなあそびを教えてもらいました。しおりのほかには、くさぶえや風車などです。

④ みなさんは、しおりを作ったことがありますか。ちょっと、こちらを見てください。

⑤ まず、このように数日間、葉をあつい本の間にはさんでおし葉を作ります。つぎに、これにあつ紙にはります。そして、どうめいなシールでつつみ、リボンをつけて、できあがりです。

⑥ わたしといっしょに、いろいろな草花でしおりを作ってみませんか。自分だけのたからものができると思います。

(「ひろがる言葉 小学国語 三上」教育出版)

資料3

児童A：この紹介のよいところは、どこだと思いますか。

児童B：「まず」、「つぎに」、「そして」を使って、しおりの作り方を分かりやすく伝えているところです。

児童C：「まず」、「つぎに」、「そして」のような言葉のことを、を表す言葉と言ったね。

児童A：他に紹介のよいところはありますか。

児童D：他には、実物を見せたり、たりするなど、工夫して伝えているところだと思います。

児童B：私も児童Dさんと同じ意見です。聞き手はしおりを作ってみたくなくなりました。

(1) 話の構成を考えるために、資料2を「始め」・「中」・「終わり」の三つに分ける活動を行いたい。「終わり」にあたる段落の番号を①～⑥から答えよ。

(2) 資料3のには、指導要領「第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕2 内容〔知識及び技能〕(2) ア」のと共通の語があてはまる。この語を答えよ。

ア 共通、相違、事柄のなど情報と情報の関係について理解すること。

(3) 資料3の児童Dは資料2の傍線部にあたる紹介のよさについて発言している。にあてはまる語句を答えよ。

- (4) 本単元で育成を目指す資質・能力は、指導要領「第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕A (1) イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。」である。資料2における「話の中心」について、次の「ウ」にあてはまることばを10字で書き入れ、完成させよ。

おばあちゃんに教えてもらいながら、「ウ」こと。

問2 第4学年で短歌を声に出して読む学習を行った。後の(1)～(3)に答えよ。

資料4

くれなるの 二尺伸びたる ばらの芽の
針やはらかに 春雨のふる
正岡 子規

資料5

街をゆき 子供の傍を 通る時
蜜柑の香せり オ がまた来る
木下 利玄

(「みんなと学ぶ 小学校国語 四年上」学校図書)

- (1) 資料4の短歌の表現について、次の「エ」にあてはまる助詞を答えよ。

「エ」が繰り返し用いられることで、優しい響きをもたらされる。

- (2) 資料5の「オ」にあてはまる語をA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

A 春 B 夏 C 秋 D 冬

- (3) 次は、本単元で育成を目指す資質・能力に該当する、指導要領「第2章 第1節 国語 第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕2 内容〔知識及び技能〕(3) ア」とそれに係る指導要領解説「国語編 第3章 各学年の内容 第2節 第3学年及び第4学年の内容 1〔知識及び技能〕(3) ア」である。「カ」にあてはまる語を答えよ。

ア 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きや「カ」に親しむこと。

短歌の五・七・五・七・七の三十一音、俳句の五・七・五の十七音の「カ」から国語の美しい響きを感じ取りながら音読したり暗唱したりして、文語の調子に親しむ態度を育成するようにすることが重要である。

第2問題 社会科について、次の問に答えよ。

問1 第5学年で「我が国の工業生産」の学習を行った。資料6は自動車づくりについて学習した授業場面の記録である。後の(1)～(3)に答えよ。

資料6

教師：自動車づくりにたずさわる人々は、どのようにしてたくさんの自動車をはやく正確につくっているのでしょうか。

児童A：自動車工場の様子が分かる資料をみればわかるんじゃないかな。

児童B：資料をみると、たくさんの部品を使って、いろいろな作業をしながらつくっているね。

教師：自動車の組み立て作業の資料をみて、どんな工夫をしているか考えましょう。

児童C：①お客さんの注文に合わせて、まちがえないように工夫している写真がいっぱいあります。

児童D：作業する人が安全にできるように工夫しています。

(略)

教師：たくさんの部品はどこから来るのでしょうか。

児童E：関連工場で作られて運ばれています。

児童F：②地図でみると、たくさんの関連工場があります。一つでも届かなかったらどうなるんだろう。

(1) 下線部①について、客の注文に合わせて、まちがえないよう製造するための工夫をA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

- A 色や種類などが書かれた指示書を1台ずつの車に付けている。
- B 車内の部品を取り付けるために、すわったままの姿勢で作業できる。
- C ロボットを使い、できあがった部品を溶接してつなぎ合わせる。

(2) 下線部②に関連して、資料7にある2011年の自動車生産台数が落ち込んだ原因について、図1を参考にして「ア」にあてはまる文を答えよ。

資料7 日本の乗用車の生産台数(2010～2012年)

2010年	8,310,362台
2011年	7,158,525台
2012年	8,554,503台

(日本自動車工業会 HP より)

2011年に起きた東日本大震災の影響で「ア」

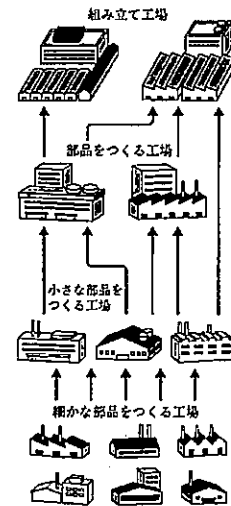


図1 組み立て工場と関連工場のつながり

(3) 指導要領解説「社会編 第3章 各学年の目標及び内容 第3節 第5学年の目標及び内容」では、「我が国の工業生産」の学習において、何について自分の考えをまとめることができるよう配慮するように記されているか、適切なものをA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

- A これからの工業の役割
- B 現在の工業の課題
- C これからの工業の発展

問2 第5学年で「我が国の農業生産」の学習を行った。資料8は日本の米づくりについて学習した授業場面の記録である。後の(1)～(4)に答えよ。

資料8

教師 : 2018年の地方別の米の生産量の資料をみると、日本では米の生産量が最も多い地方はどこでしょうか。

児童A : ③ イ です。

教師 : ④ 米づくりがさかんな地域では、どのようにしてたくさんの米をつくっているのでしょうか。

(略)

教師 : 米の生産量はどのように変化していますか。

児童B : だんだん少なくなってきました。

児童C : ⑤ 米の生産量がへって、大豆や野菜など他の作物の生産量がふえている地域もあります。

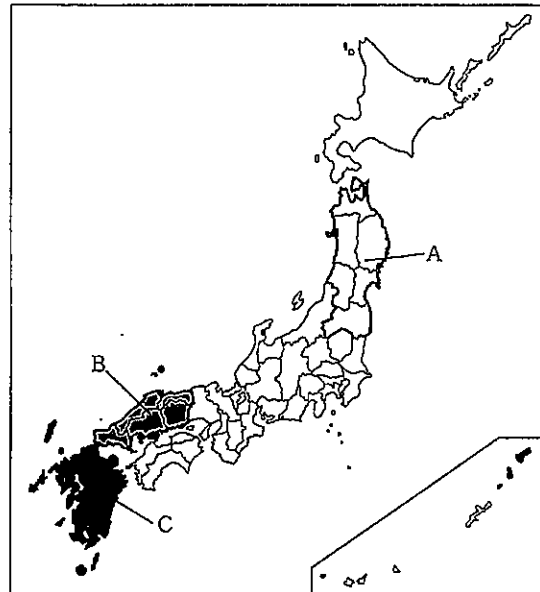
(1) 下線部③について、イにあてはまる米の生産量が最も多い地方を、地図中のA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

(2) 下線部④について、農家が労働時間の短縮を進める工夫として適切なものをA～Dから二つ選んで、記号で答えよ。

- A 種もみの直まき
- B 米の国内の食料自給率を高める
- C 生産者の名前を示す表示
- D 農具の機械化

(3) 下線部⑤について、ある土地でそれまで育てていた作物から、他の作物に変えて育てることを何というか答えよ。

(4) 指導要領解説「社会編 第3章 各学年の目標及び内容 第3節 第5学年の目標及び内容」では、子どもたちが食料生産の生産性や品質を高める工夫について多角的に考えられるようにするには、何と何の立場に立つように指導することが大切と記されているか、答えよ。



第3問題 算数科について、次の問に答えよ。

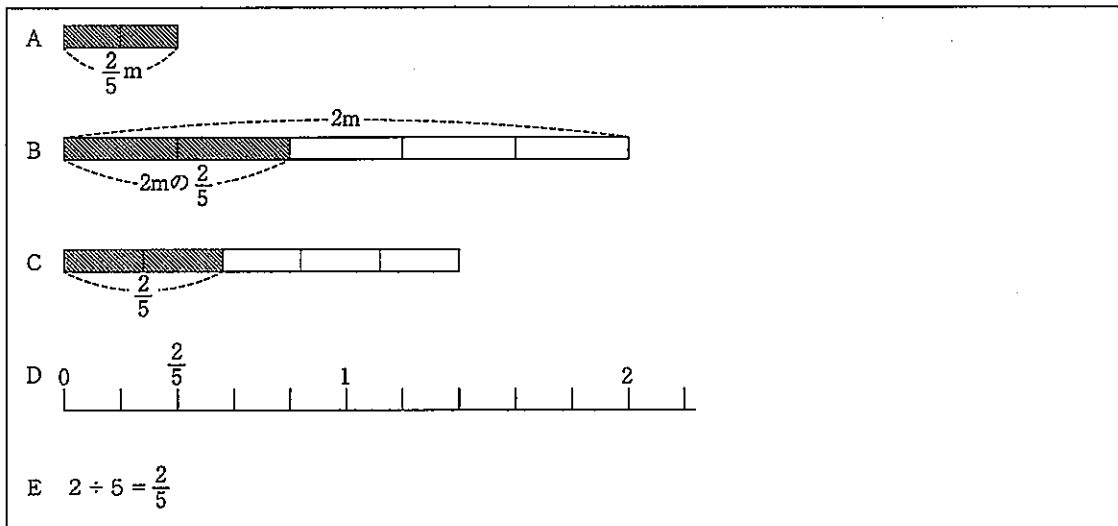
問1 第3学年で分数の意味と表し方の学習を行う。次の(1)～(3)に答えよ。

(1) 資料9は、分数 $\frac{2}{5}$ の意味を表した図や式である。ア、イにあたる図や式をA～Eから一つ選び、記号で答えよ。

ア 単位分数の個数を表す分数

イ 測定したときの量の大きさを表す分数

資料9



(2) 次の問題の答えを求める式 $\frac{1}{5} + \frac{2}{5}$ の計算の仕方を、単位分数をもとに言葉と式で説明せよ。

<問題>

$\frac{1}{5}$ Lのジュースが入ったペットボトルと、
 $\frac{2}{5}$ Lのジュースが入ったペットボトルがあります。
 合わせて何Lですか。

問2 第4学年で面積の求め方の学習を行った。図2のような長方形を組み合わせた図形の面積の求め方に関して、後の(1)～(4)に答えよ。

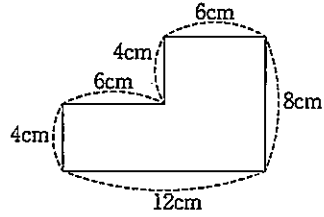


図2

(1) 図2の図形の面積を求めるとき、面積の意味に基づく説明の図をA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

A 	B 	C 	D
-------	-------	-------	-------

(2) 資料 10 は図 2 の面積の求め方についての授業場面の記録である。児童 A の面積の求め方を表した図及び式と説明を参考にして、児童 B の面積の求め方を、図に表し式と説明を記せ。

資料 10

教師 : どのようにすればこの図形の面積を求めることができますか。
 児童 A : わたしは、外側の大きな長方形の面積から、内側の余分な長方形の面積を引けばよいと思います。
 児童 B : わたしは、二つの長方形に分けて面積を求めてから、合わせればよいと思います。
 教師 : 二人の考えを図と言葉や式を使って説明しましょう。

児童 A の求め方

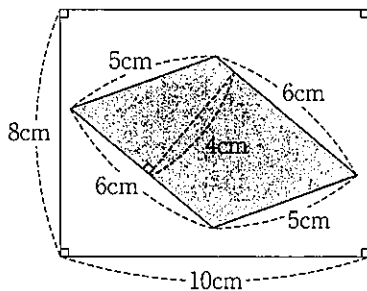
【児童 A の図】	【児童 A の式と説明】
	<p>斜線部を含んだ長方形の面積は、 $8 \times 12 = 96$ 斜線部の長方形の面積は、 $4 \times 6 = 24$ だから、$96 - 24 = 72$ この図形の面積は、72cm^2といえる。</p>

児童 B の求め方

【児童 B の図】	【児童 B の式と説明】

(3) 児童 A や児童 B の発言はどのような数学的見方・考え方を働かせたものか、記せ。

(4) 下の長方形の白い部分の面積を求めよ。



第4問題 理科について、次の問に答えよ。

問1 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 水のあたたまり方を調べるため、図3のように試験管に水を入れて熱する実験を行った。試験管の真ん中部分を熱したとき、水のあたたまり方として適切なものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

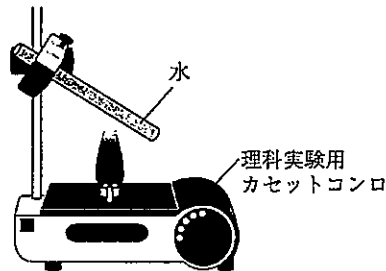


図3

- A 試験管のあたためた部分から上の部分が先にあたたまっていく。
 B 試験管のあたためた部分から下の部分が先にあたたまっていく。
 C 試験管の底のほうから上の部分へと順にあたたまっていく。
 D 試験管の上の部分と下の部分が同じようにあたたまっていく。
- (2) 金属棒を用いて金属のあたたまり方を調べた後、金属板のあたたまり方について児童Aは次のように予想した。

にあてはまる文を金属のあたたまり方を根拠に記せ。

<児童Aの予想>

金属板のあたたまり方は、金属棒のあたたまり方と同じで

- (3) 図4のように、エアコンを用いて教室全体をあたためたいときにエアコンの風の向きを下向きにすることがある。そのようにする理由を にあてはまる文を入れて完成させよ。

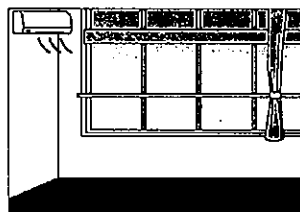


図4

理由

ので、エアコンの風の向きを下向きにして部屋全体をあたためるため。

問2 第4学年で「電流のはたらき」について学習した。図5のように、モーター、プロペラ、単三乾電池1個、スイッチ、導線を用いて扇風機を作る活動に関して次の(1)～(4)に答えよ。

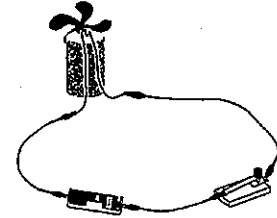


図5

(1) 児童同士で「プロペラの回る向きが変わる原因」について話し合ったところ、次のように予想した児童がいた。

<児童Bの予想>

プロペラの回る向きが変わったのは電流の向きが変わったからだ。

児童Bの予想を確かめるため、図6のように検流計を用いて電流の向きとプロペラの回る向きを調べることにした。電流の向きを変える前の検流計Aの針の位置が、図7のとおりであるとき、電流の向きを変えた後の検流計Bの針の位置を書き入れよ。

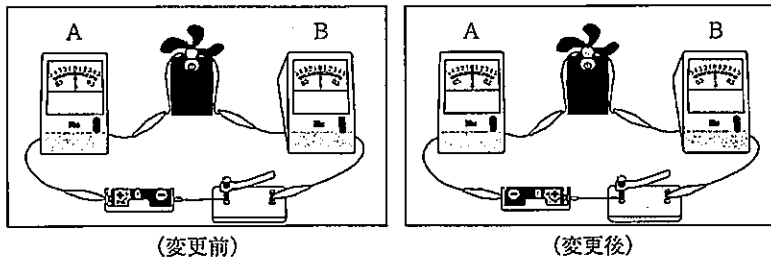


図6 実験の様子

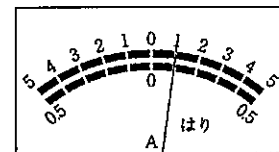


図7 検流計Aの針の位置 (変更前)

(2) (1)の実験後、児童同士でプロペラの回る速さが変わる原因について話し合ったところ、次のように予想した児童がいた。

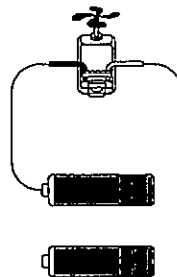
<児童Cの予想>

プロペラをもっと速く回すには、電池の数を増やしたほうがよい。

児童Cの予想では、既習の学習を振り返り、理科の見方を働かせていることがわかる。児童Cが働かせている理科の見方として適切な視点をA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

A 量的・関係的な視点 B 質的・実体的な視点 C 共通性・多様性の視点 D 時間的・空間的な視点

(3) (2)の話し合い後、プロペラを速く回したいと考えて、乾電池の数を1個から2個に増やして実験することにした。プロペラをより速く回すための導線のつなぎ方を書き入れよ。



(4) (3)のときのつなぎ方の名称を答えよ。

第5問題 生活科について、次の問に答えよ。

問1 次は、指導要領解説「生活編 第2章 生活科の目標 第2節 学年の目標 2 学年の目標の趣旨 (1)」である。

(1) 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気づき、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、
① 集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。

下線部①について、期待される行動の例として適切なものをA～Dから二つ選び、記号で答えよ。

- A 対象と関わることのよさを味わい、活動し関わることを心待ちにする。
- B 相手や場所の様子や状況を考えて、接したり扱ったりすることができる。
- C 自分自身の心身の成長やそれを支える身近な人の存在を認めることができる。
- D 健康や安全に気を付けたり、きまりなど日常生活に必要なことを大切にしたりして行動することができる。

問2 次は、指導要領「第2章 第5節 生活 第2 各学年の目標及び内容 (第1学年及び第2学年) 2 内容 [学校、家庭及び地域の生活に関する内容] (5)」である。

(5) 身近な自然を観察したり、② 季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに気付くとともに、③ それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

(1) 下線部②について、活動として取り上げることが想定される季節の行事の例を、一つ答えよ。

(2) 下線部③についての説明として適切なものをA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

- A 自然との触れ合いや行事との関わりの中で、気付いたことを毎日の生活に生かし、自分自身の暮らしを楽しく充実したものにしていくことである。
- B 例えば、季節ごとに見える星座が異なることに気づき、自然事象の変化を客観的に見つけながら、自身の生活を楽しくしようとすることである。
- C ここでの活動は、他の内容との関連を図りながら継続的に扱うことが考えられる。特に、内容 (2)「家庭と生活」、内容 (9)「自分の成長」と適宜関連させて、創意工夫のある指導計画を作成することが大切である。

第6問題 音楽科について、次の問に答えよ。

問1 図8は第2学年の共通教材「かくれんぼ」の楽譜である。この教材を指導する際に児童の思考・判断のよりどころとなる主な「音楽を形づくっている要素」は何に設定したらよいか、適切なものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。



図8

- A 音色
- B 呼びかけとこたえ
- C 音の重なり
- D 速度

問2 問1の第2学年の共通教材「かくれんぼ」を指導する際に、「体の動きを伴った活動や互いに聴き合う活動」を取り入れる工夫が考えられる。その活動を取り入れる目的として適切な理由をA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

- A 階名を用いて歌う際に、調によって五線譜上のドやラの位置が移動することに気付けるようにするため。
- B 範唱をよく聴き、音程、リズム、速度、強弱などに気を付けながら繰り返し模唱させるため。
- C 児童が友達の歌声や伴奏などを聴きながら、自分の歌声に気を付けて歌うことができるようにするとともに、声を合わせて歌おうとする意欲を育てるため。
- D 知識や技能を習得してから表現を工夫するため。

第7問題 図画工作科について、次の問に答えよ。

問1 第4学年の鑑賞する活動において、発達の段階や生活範囲への広がりを踏まえ鑑賞の対象として適切なものをA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

- A 自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの身近にある作品
- B 食器、家具、衣服、パッケージなど、児童を取り巻く生活の中にある様々な造形
- C 国や地域、時代や風土、作者の個性などが関わって創造された我が国や諸外国の親しみのある美術作品

問2 第4学年の造形遊びをする活動において、4年生として扱う材料等として適切なものをA～Cから一つ選び、記号で答えよ。

- A 身近な自然物や人工の材料の形や色など
- B 材料や場所、空間など
- C 身近な材料や場所など

第8問題 家庭科について、次の問に答えよ。

問1 ゆでる調理の学習において、ほうれん草を扱う。ほうれん草の適切な洗い方を記せ。

問2 布を用いたふくろの製作において、必要な布を見積る際、入れたいものの寸法以外に、分量を考える必要があるものを二つ記せ。

第9問題 体育科について、次の問に答えよ。

問1 指導要領解説「体育編 第2章 体育科の目標及び内容 第2節 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕2 内容 D 水泳運動 (1) 知識及び技能 ウ」において、安全確保につながる運動の背浮きの指導をする際の指導内容として示されている記述として適切でないものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

- A 息を吸って止め、全身の力を抜いて浮くこと。
- B 顔以外の部位がしっかりと水中に入った背浮きの姿勢を維持すること。
- C 息を一度に吐き出し呼吸すること。
- D 背浮きの姿勢を崩さないように、手や足をゆっくりと動かすこと。

問2 指導要領解説「体育編 第2章 体育科の目標及び内容 第2節 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕2 内容 D 水泳運動 (3) 学びに向かう力、人間性等」では、仲間とうまく関わりながら学習を進めることが苦手な児童への配慮の例として、①ペアやグループ編成を工夫することと、②その児童の伸びや仲間との関わりを成果を仲間同士で積極的に認める場を設定することを含め三つ示されている。残りの一つの例について記せ。

問3 指導要領「第2章 各教科 第9節 体育 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕3 内容の取扱い (4)」において、「学校の実態に応じて加えて指導することができる。」とされている泳法を答えよ。

第10問題 外国語科について、次の(1)、(2)の対話の()にあてはまる文として適切なものを下のア～エから一つずつ選び、記号で答えよ。

(1) A: Excuse me, but how far is it from here to Green Park?

B: It is about a fifteen minute walk.

A: ()

B: Yes, sure. Go straight along this street, and make a right turn at the first signal.

ア Where am I on this map?

イ Which is faster, by car or on foot?

ウ Could you wait for me till I get back?

エ Could you tell me how to get there?

(2) A: Hi, Mike. What's going on? You look a little puzzled.

B: Do I? Well, I'm confused at this email reply from my client.

A: Can I take a look? OK, this person seems to be angry with you. Can I see the original email you sent her?

B: ()

ア Yes, I need to be real with you.

イ Yes, that's funny.

ウ Yes, it's below the reply.

エ Yes, I'm going to write a draft.

第11問題 特別の教科 道徳について、次の問に答えよ。

問1 次は、指導要領「第3章 特別の教科 道徳 第2 内容」で扱う項目である。「第5学年及び第6学年」にあって、「第1学年及び第2学年」にない内容項目をA～Fから三つ選び、記号で答えよ。

A 真理の探究 B 勤労、公共の精神 C 国際理解、国際親善 D 相互理解、寛容

E よりよく生きる喜び F 自然愛護

問2 指導要領「第3章 特別の教科 道徳 第2 内容 C 主として集団や社会との関わりに関すること〔家族愛、家庭生活の充実〕」に関して、学年段階ごとに内容が示されている。次のア～ウの文を、「第1学年及び第2学年」、「第3学年及び第4学年」、「第5学年及び第6学年」の順に並べ替えるとどのような順番になるか、A～Fから一つ選び、記号で答えよ。

ア 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。

イ 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。

ウ 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。

A ア→イ→ウ B ア→ウ→イ C イ→ア→ウ D イ→ウ→ア E ウ→ア→イ F ウ→イ→ア

問3 指導要領解説「特別の教科 道徳編 第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 第1節 指導計画作成上の配慮事項 2 年間指導計画の意義と内容 (1)」では、年間指導計画のもつ重要な意義が三点示されている。その意義として誤っているものはどれか、A～Cから一つ選び、記号で答えよ。

- A 学校間の接続において、指導内容の連携が図られる。
- B 個々の学級において道徳科の学習指導案を立案するよりどころとなる。
- C 学級相互、学年相互の教師間の研修などの手掛かりとなる。

第12問題 総合的な学習の時間について、次の問に答えよ。

問1 総合的な学習の時間の学習においては、学習過程が①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現とすることが重要である。次のア、イの活動場面はそれぞれ①～④のどれに該当するか、一つずつ選び、番号で答えよ。

- ア 川に生息する水生生物を調べたり、バックテストなどで水質検査をしたりする。実際に川に入って生き物を探したり、水質を調べたりする。
- イ 水生生物の分布の様子を地図にしたり、水質の変化をグラフ化したりする。

問2 第6学年の総合的な学習の時間で「平和」をテーマに学習する場合に、修学旅行における広島市の平和記念公園での調査活動の時間を、総合的な学習の時間としてカウントすることが可能となる条件を「探究」の語を用いて記せ。

第13問題 特別活動について、次の問に答えよ。

問1 指導要領「第6章 第2 各活動・学校行事の目標及び内容〔学級活動〕2 内容」では、学級活動の内容として、

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
- (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

が示されている。次のア～ウの活動は、(1)～(3)のどれにあたるか、その組み合わせとして正しいものをA～Fから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること。
- イ 給食の時間を中心としながら、健康によい食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。
- ウ 学級生活の充実や向上のため、児童が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| | ア | イ | ウ |
| A | (1) | (2) | (3) |
| B | (1) | (3) | (2) |
| C | (2) | (1) | (3) |
| D | (2) | (3) | (1) |
| E | (3) | (1) | (2) |
| F | (3) | (2) | (1) |

- 問2 指導要領解説「特別活動編 第3章 各活動・学校行事の目標及び内容 第1節 学級活動 3 学級活動の指導計画」では係活動のねらいが示されている。そのねらいとして正しいものはどれか、A～Dから一つ選び、記号で答えよ。
- A 学級の全児童によって行われる活動で、学級生活を一層楽しく豊かにすることをねらいとしている。
 - B 学級の児童が学級内の仕事を分担処理し、児童の力で学級生活を楽しく豊かにすることをねらいとしている。
 - C 教科に関する仕事や教師の仕事の一部を担うことをねらいとしている。
 - D 学級や学校の生活をよりよくするための課題を学級全員で話し合うことをねらいとしている。